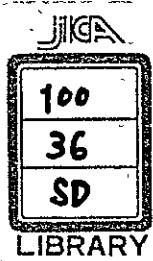


課 画

メコン河総合開発の現状

昭和39年7月

海外技術協力事業団
開発調査部



国際協力事業団

受入 月日	'84. 5. 18	100
登録No.	05570	36
		SD

メコン河総合開発調査

1. メコン河下流域調査調整委員会

1957年8月のエカフエオ18回会議で採托された勧告に応じ、カンボディア、ラオス、タイ及びヴィエトナムの四ヶ国政府は、1957年10月メコン河下流域調査調整委員会を設立した。委員会は、各四接岸国からの全検代表をもつて構成され、「メコン河下流域における水資源開発計画の立案と調査を促進し、調整し、監督し及び統制すること」及び「構成各国政府を代表して特別の財政的、技術的援助を要請し、かかる援助を個々に受領し、管理すること」等の権限を付与されている。

2. メコン河開発計画

メコン河開発計画、水力発電、灌漑、洪水調節、排水、舟航改善、流域調節、給水、及び関連開発につきメコン河の本流及び支流を含めその下流域の水資源開発を目的とするものである。その業務は、次のように分類される。

- (1) 基礎資料の収集
- (2) 総合的流域計画立案
- (3) 必要に応じ個々の本流及び支流計画の立案及び設計
- (4) 投資の手配に関する援助
- (5) 必要に応じ計画の建設、運営及び維持への援助
- (6) 関連する業務



3. 国際協力

メコン河調査の際立つた特徴の一つは、メコン委員会を推進母体として、国際的な協力のもとに調査が進められていることである。各接岸国は政治的・外交的に衝突しながらも、メコン委員会の活動に関する限りは協力し合ってきたし、またエカフエを始め国連、先進、後進諸国が当初から援助協力してきた。関係者はこれをメコン・スピリットと呼んでいる。

現在の援助国・機関は、11国連関係機関、20カ国政府、3私設財団、その他民間会社である。これらの国・機関からの調査費用の援助実績は別表1のとおりである。また、支流計画のうち比較的大きなタイのナンボン計画及び比較的小さな2計画（ラオスのセドン下流計画、ナムドン計画）の建設のため2接岸国に対し借款が供与された。

1964年8月17日現在の資金は調査、計画用拠出金及び借款を合わせて\$52,492,712相当額となり、分類すると、

- (a) 投資前調査と立案のため \$24,440,712
- (b) 建設への投資のため \$28,052,000

となる（別表1）。

4. 日本の協力

わが国は1958年度以来メコン委員会の調査活動に援助を続けてきた。1958～63年度間にわが国が拠出した金額は2億9,700万円にのぼり、本年度さらに6,400万円が計上されている。わが国の援助概容次の通り（詳細別表2）。

- (1) 1958（昭33）年度才1次主要支流踏査

メコン河下流域の主要支流 34 河川について航空調査並びに地上踏査を行ない、その報告書（1959年5月提出）の中で、8支流（ラオスのナムグム、セバンヒエン、セドン、タイのナンボン、カンボジアのスタンセン、バツタンバン、ヴェトナムのスレボック上流、セサン上流）について即時精密調査に着手するよう勧告した（委員会は、内ナムグム、ナンボン、バツタンバン、セサン上流の4支流をPilot and Training Project としてSFの資金を得て調査を開始した）。

(2) 1959（昭34）年度 才2次主要支流踏査

すでに踏査を行なった34支流のうち16支流につき、主要支流の開発に関する予備計画の策定に必要な、より詳細な地上踏査を行ない、その報告書（1960年6月提出）の中で、早期有望開発計画として7支流（ラオスのセドン、タイのナムガム、ナムムン下流、カンボジアのプレクトノット、スタンセン、スタントレン附近、ヴェトナムのスレボック上流）をあげ、精密調査に着手すべき旨を勧告した。

(3) 1960（昭35）年度 才3次主要支流踏査前2年度はいずれも乾期の踏査であつたので、雨期についての補足踏査（地上及び航空）を行ない主要支流踏査総合作業予察報告書を作成した（1961年2月提出）。更に、8回にわたる現地踏査の成果を集大成した「メコン河主要支流踏査総合報告書」を作成した（1961年10月提出）。

(4) 1961（昭36）年度

(イ) ナムガム計画予備調査

タイの支流ナムガム流域の多目的開発計画を樹立し、更にナムガムの支流ナムブン多目的ダム計画の予備設計をなす必要な調査を行

ない、「ナムガム流域総合開発計画調査報告書」及び「ナムガム計画予備設計書」を作成した（1962年12月提出）。

(d) ブレクトノック計画予備調査

カンボディアの支流ブレクトノット多目的計画のうち、貯水池、ダム、発電部門の予備設計作成を目的とする調査及びかんがい計画の概略調査を行ない、「ブレクトノット計画予備調査報告書」を作成した（1962年12月提出）。

(e) スレボック上流計画水文調査

測水所2カ所を設置し、定時水位動測及び月1回程度の流量動測を1年間継続して実施した。

(f) サンボール計画予備調査

本流の優先プロジェクトであるサンボール計画のダム、発電、灌漑、治水、舟航、工業計画等について、経済的、技術的な検討を行ない、「サンボール開発計画予備調査報告書」を作成した（1962年10月提出）。

(5) 1962（昭37）年度

(i) スレボック上流ダルラック計画調査

ダルラック盆地の灌漑、排水計画の調査を行ない、その報告書の中でこの盆地のかんがい可能地8,000haのうち1,000haの単独開発の可能性を指摘した（1963年12月提出）。

(ii) サンボール計画才1年次調査

予備調査に引き続き、総合開発計画作成を目的とする精密調査の才1年次調査で、発電、舟航、灌漑、及び電力市場の4分野にわたつ

て調査を行ない、才1次中間報告書を作成した（1963年12月提出）。

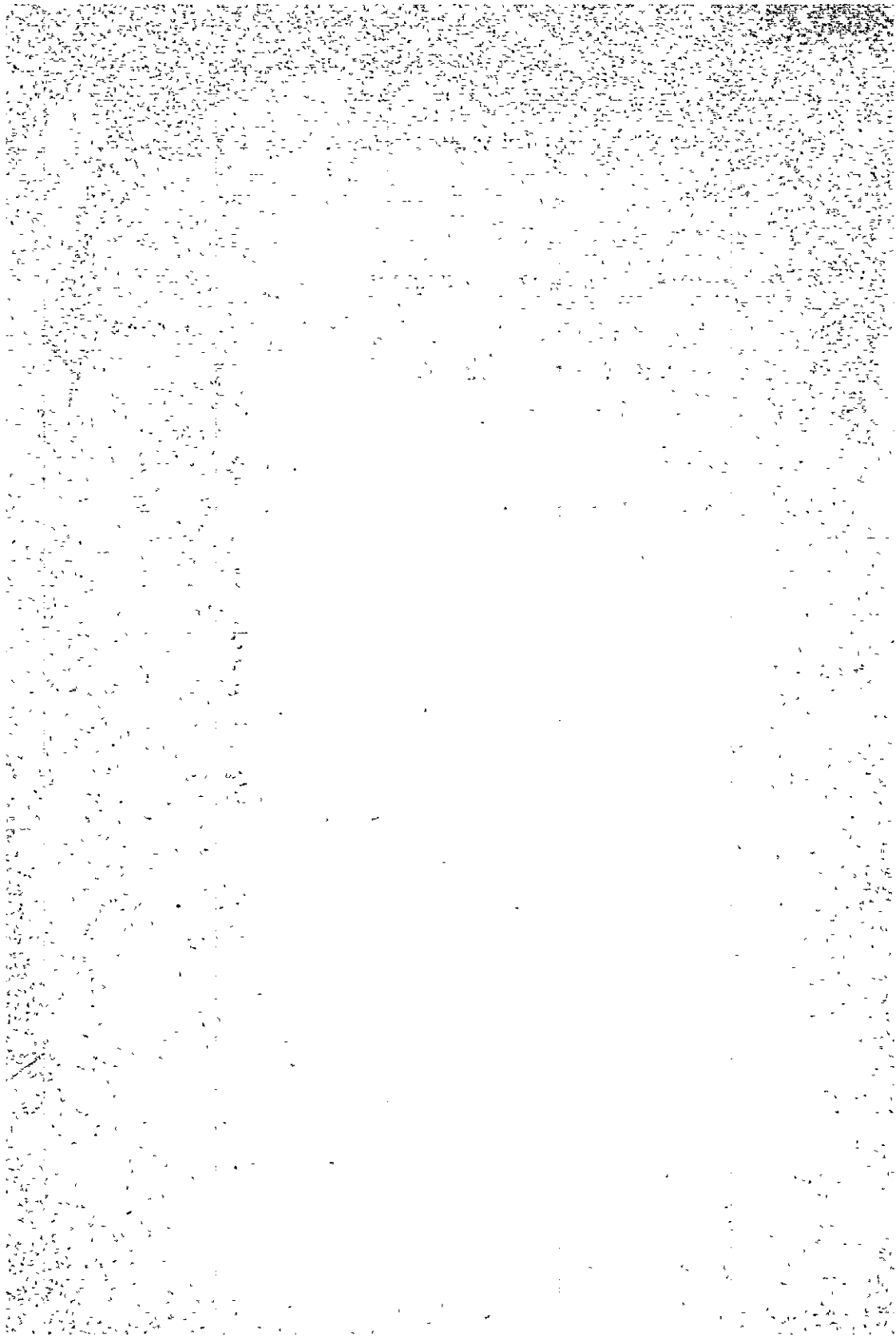
(6) 1963（昭38）年度

(イ) スレボック上流クロンブック計画調査

ダルラック開発計画と関連する上流のクロンブック計画についての調査を実施した。目下報告書作成中。

(ロ) サンボール計画才2年次調査

土木、水文、材料、地形、地質調査等の土木調査に重点をおき、東京で水利模型実験を実施した。目下報告書作成中。



(表1)

メコン河下流域開発計画に対する協力状況

(注) 1. 1964年8月17日現在
 2. 換出済額及び換出約束額の合計
 3. 単位 U.S.ドル
 4. メコン委員会作成

1. 投資前調査及び立案

国名	協力事項	換出額
オーストラリア	本流バモーン及びサンポール・ダムサイト地質調査	53,000.0
カナダ	航空写真図化	1,365,000
中華民国	セメント、高地用実験種級供与、研究旅行	125,000
デンマーク	森林保護と開発、紙パルプ生産	10,000
フィンランド	森林保護と開発、紙パルプ生産	10,000
フランス	水文調査、トンレサップ計画立案のための漁業・沈澱・土壌調査、デルタ開拓の研究、洪水予報、ポーカーサイト その他の鉱物探査、地質図作成、国内電力市場調査	1,099,811
イギリス	トンレサップ水門設計及び計画立案、雨量計供与	282,000
インド	石油製品供与	99,400
インドネシア	プロジェクトノット灌漑計画立案、セメント供与、全プログラム用臨時費、研修員受入れ	851,000
イタリア	水文関係専門家派遣	24,300
日本	支流増査、サンポール計画立案、ナムブソン計画立案、プロジェクト計画立案(ダムと水力発電)、スレポック 上流計画調査	832,000
オランダ	器具	138,000
ニュージーランド	ジエックト測量船、トンレサップ計画立案(器具) 全プログラム用臨時費	1,970,000
ノルウェー	森林保護と開発、紙パルプ生産	10,000
パキスタン	ナムブソン計画の灌漑施設立案と仕様書作成	100,000
フィリピン	地形図作成	257,250
スウェーデン	森林保護と開発、紙パルプ生産	10,000
英国	水文、気象、水路、航行改善、地質化学的鉱物調査	249,000
米国	水文、水路、水準測量及び地上測量(以上242万ドル) バモン計画立案(見積250万ドル)、水路関係器具 (86,000ドル)	4,950,000
国連エカフエ	委員会に対する専門家提供と管理上の援助及び事務局長	384,752
国連技術援助評議会 (UN/TAB)	国連拡大援助プログラムの調整、このプログラムを通じ 下記BTAOその他の特別機関が参加している。	—
国連技術援助実施部 (UN/BTAO)	ホイラー副査団の派遣、諮問委員会、専門家派遣、 下記の国連特別基金による支流計画・水路調査・鉱物調査の 実施機関としての業務(エカフエと共同) 委員会事務局に対する援助	862,799

国名	協力事項	換出額
国際労働機構(ILO)	労働力分析	12,104
食糧農業機構(FAO)	農業及び森林調査、下記の特別基金支流計画における実 験農場のサブ・コントラクター	125,980
ユネスコ	下記の特別基金数学的モデルの実施後、地震調査	16,800
世界保健機構(WHO)	住血吸虫病及びマラリアの研究	5,077
世界気象機構(WMO)	水文、気象調査	45,300
国際原子力機関 (IAEA)	アイントホープによる水文及び沈殿の研究	55,650
世界銀行	諮問委員会委員派遣	—
国連特別基金 (UN/SF)	— 実験農場を含む支流調査 1,629,150 — 水路調査 880,500 — 鉱物調査 422,300 — 数学的モデルモデル調査 605,300 — 委員会機構強化 2,451,700	5,488,950
アジア財団	旅行費	—
フォード財団	経済及び社会に関する研究	—
Resources for the Future, Inc.	電力市場分析	—
Price Water - house Co.	ニュージラランド換出金の会計事務	—
Sycipo Gorres, Velāyā & Co.	フィリピン換出金の会計事務	—
Shell Co.	メコン記録映画	—
	小計	17,143,123
流域4カ国による 現地換出金	—カナダの図化プログラムに基づいて 105,000 —インドのトレンサップ計画に基づいて 50,000 —アメリカの水文調査プログラムに基づいて 400,000 — (後期) 488,000 —特別基金支流計画に基づいて 471,192 —特別基金による舟航改善のための水路 調査に基づいて 266,600 —特別基金による鉱物資源調査に基づいて 233,640	

国名	協力事項	換出額
	<ul style="list-style-type: none"> 一 特別基金・ユネスコによる数学的デルタモデルに基づいて 127,148 一 イスラエル・日本のアレクトノット計画に基づいて (カンボディア) 72,000 一 日本の予備調査に基づいて (カンボディア) 17,171 一 日本のスレポック上流計画に基づいて (ウイエトナム) 22,848 一 パキスタンのナンボン灌漑計画に基づいて (タイ) 25,000 一 アレクトノット実験農場のため (カンボディア) 1,000,000 一 パットパン実験農場のため (カンボディア) 800,000 一 カラシンン実験農場のため (タイ) 311,000 一 委員会機構強化計画のため 8,418,000 	7,297,589
計：投資前		24,440,712

2. 投資又は建設

タイのナムボン支流計画		
(a) ドイツのタイに対する20年長期低利子借款	11,000,000	
(b) タイによる資金準備	6,000,000	17,000,000
タイのナムボン支流計画		
タイによる資金準備		5,000,000
カンボディアのプロジェクト支流計画		
(a) Prek Thnot 建設のための土木工事と機材の 調達と含む建設費に対するカンボディアの充当金	3,357,000	
(b) オーストラリアからの技術の提供(見積額)	800,000	4,157,000
ラオスのセドム下流支流計画		1,175,000
ラオスのナムドン支流計画		400,000
上記2計画のため		
(a) フランスからのラオスに対する借款	600,000	
(b) ラオスの準備金	975,000	
舟航改善—カンボディア、ラオス、タイ及びグイエトナム に於ける水路作成と改善		
(a) 英国贈与金	190,000	
(b) 接岸国(概算)	80,000	270,000
イスラエルの借款供与公約(プロジェクト名未定)		50,000
計 : 投資又は建設		28,052,000
総計 : 投資前と投資		52,492,712

(表2)

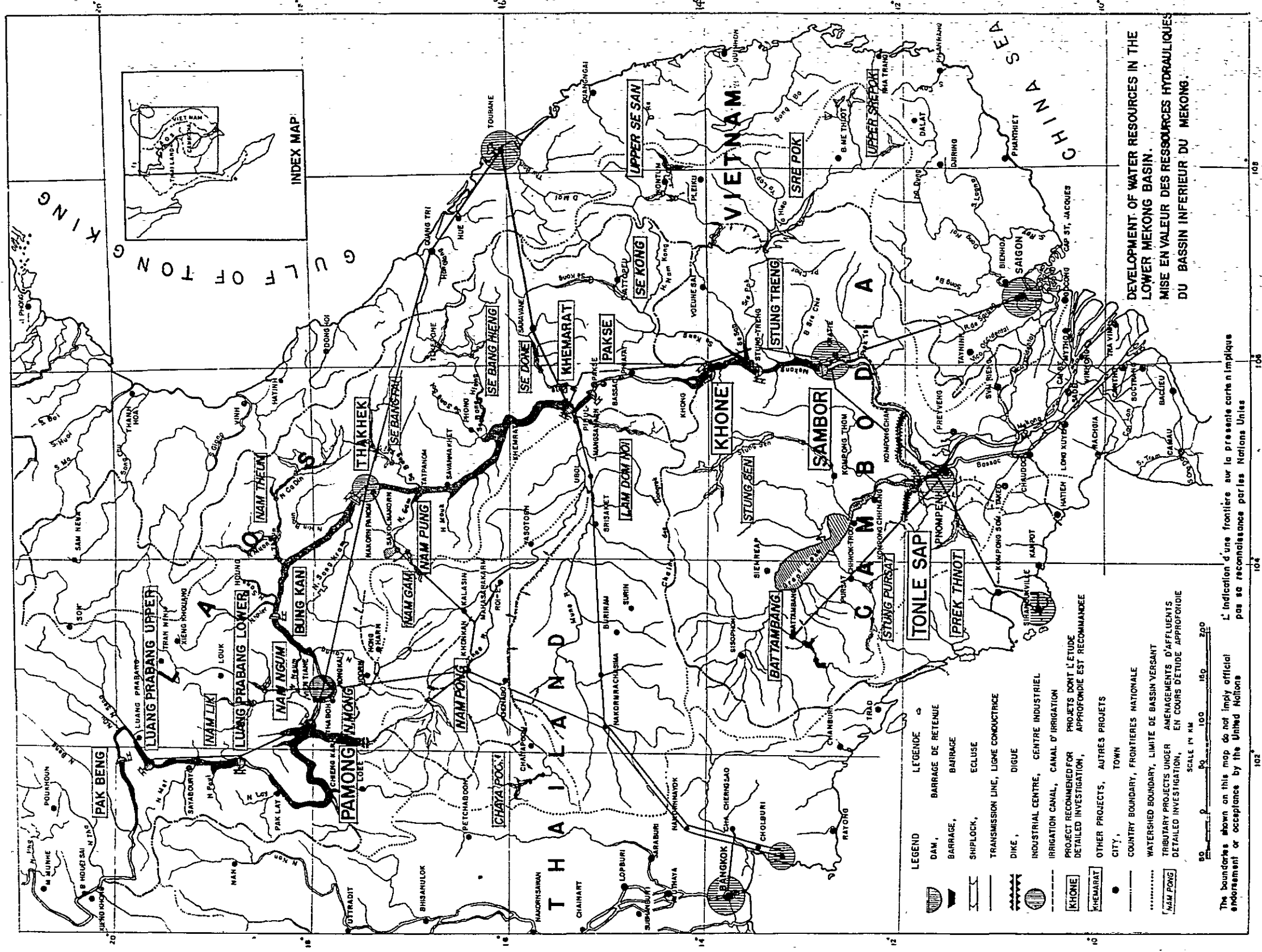
わが国のメコン河開発調査事業年度別実績表

備考 年度()は繰越予算によることを示す。

実施年度	調査団名	期間 (日間)	経 費		対象地域	国 名	派遣 人員	派遣機関	調査団編成	備 考
			予 算	経 費						
33	才1次主要支流踏査団	34.1.13 ～ 34.8.12 60日間 小計	20,000,000 20,000,000	19,868,705 19,868,705	メコン河下流域 4カ国	タイ、ラオス、 カンボディア ヴィエトナム	18	海外電力調査会 国際建設技術協会	科技、通産、建設、農林、外務 工営、電発、海外電力、東電 国建協、大南公司、日綿、朝日 新聞	主要支流34河川の踏査 早期開発8支流を委員会に勧告、内4支流に ついて特別基金の資金贈与により調査を実施
34	才2次主要支流踏査団	34.12.15 ～ 35.3.30 105日間 小計	43,200,000 43,200,000	35,079,578 35,079,578	同 上	同 上	21	メコン河総合開発 調査会	外務(建設)、農林、通産、 工営、電発、日本化学、東電 農業土木、大南公司、日綿	開発可能度の高い16支流踏査(含む8支流) 7支流を早期有望開発計画として勧告、内3 計画は調査をし、建設に着手(セドン下流、 ナムブン、プレクトノット)、1計画(スレ ボック上流)は調査中。
35 (36)	才3次主要支流踏査団 主要支流踏査報告書	35.9.10 ～ 35.10.21 40日間 (繰越) 小計	27,523,000 3,000,000 30,523,000	27,420,585 2,997,640 30,418,225	同 上	同 上	12	同 上	外務(建設)、電発、工営、 日本化学、メコン河調査会、 日綿、大南公司	雨期の補足踏査 主要支流総合報告書を作成
	主要支流踏査経費	計	93,723,000	85,161,508						相当米ドル≒\$256,775(実績)233,319
36 (37)	ナムガム調査団(1次) ・ (2次) ・ (補足)	36.10.2 ～ 10.21 20日間 36.12.20 ～ 37.3.24 95日間 37.9.5 ～ 37.10.12 38日間 小計	19,248,000 8,731,000 27,979,000	19,246,071 7,610,084 26,856,105	支流ナムガム 同 上 同 上	タ イ 同 上 同 上	4 15 6	メコン河調査会 同 上 同 上	農林、電発 農林、電発、メコン河調査会 鉦研試錐 電発	タイ政府は、ナムブン計画の詳細設計及び監 督を電発に委託、タイ政府は全工事費500万 ドルの支出を決定、工事に着手した。

実施年度	調査団名	期間 (日間)	経 費		対象地域	国 名	派遣人員	派遣機関	調査団編成	備 考
			予 算	実 績						
(36)	プレクトノット調査団	36.10.1 ~37.5.28 240日間	(繰越) 16,467,000	16,466,127	支流プレクト ノット	カンボディア	18	メコン河調査会	日本工営	オーストラリアが詳細設計、監督を引きうけた。カンボディア政府は建設を決定、1部資金を割当、工事に着手した。
(37)	継続		(繰越) 4,190,000	4,190,000	同上	同上				
		小計	20,657,000	20,656,127						
(36)	スレボック側水調査	36.10. ~37.9 (一年)	(繰越) 520,000	520,000	支流スレボック 上流域	ヴェトナム		メコン河調査会	日本工営	
(37)	継続		(繰越) 320,000	320,000						
		小計	840,000	840,000						
36	サンポール予備調査団 (本隊)	36.10.10 ~36.11.1 17日間			本流サンポール	カンボディア	15	メコン河調査会	科技、通産、建設、農林、中電 工営、電発、昭電、メコン河調 査会、日綿	
(37)	(現地作業隊)	37.1.1 ~37.3.28 87日間	19,620,000	19,456,150	同上	同上	8	同上	通産、外務、電発、工営	
(37)	(雨季作業隊)	37.9.6 ~9.28 21日間	6,380,000	5,225,291	同上	同上	8	同上	電発	
		小計	26,000,000	24,681,441						
		計	75,476,000	73,088,673						
37	サンポール調査団 (才1年次)	38.1.13 ~38.3.28 75日間	45,700,500	44,787,832	本流サンポール	カンボディア	31	海外技術協力 事業団	事業団、電発、港湾コンサル タント、海外電力、日本物探、 間組、農林	
(38)	(才1年次補定)	38.8.24 ~38.9.11 19日間	3,944,500	3,839,536	同上	同上	2	同上	建設、港湾コンサルタント	
		小計	49,645,000	48,627,368						
37	スレボック(ダラック) 農業開発調査団	37.12.27 ~38.3.29	10,837,500	10,758,709	支流スレボック 上流ダラック 湿地帯	ヴェトナム	9	同上	事業団、工営	
(38)	同 報告書		(繰越) 3,186,500	3,137,285						

実施年度	調査団名	期間 (日間)	経 費		対象地域	国 名	派遣 人員	派遣機関	調査団編成	備 考
			予 算	実 績						
		小 計	14,024,000	13,895,994						
37	附 帯 費		478,000	477,314						
		計	64,147,000	63,000,676						
38	スレボック(クロンブック)開発調査団	38.11.14 ~39.2.12 91日間	14,100,000		支流スレボック上流	ヴェトナム	6	海外技術協力事業団	事業団、工管	
38	サンポール調査団(オ2年次)	38.10.27 ~39.1.10 76日間	50,077,000		本流サンポール	カンボディア	25	同 上	事業団、電発、財組、日本物探	
	総 計		297,523,000							



DEVELOPMENT OF WATER RESOURCES IN THE LOWER MEKONG BASIN.
 MISE EN VALEUR DES RESSOURCES HYDRAULIQUES DU BASSIN INFÉRIEUR DU MEKONG.

